FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

〜はてなき空の向こうに〜

II

GANGAN COMICS

壱河柳乃助

壱河柳乃助

連載を始めるようになり
たくさんの方々からお手紙やホームページから
Eメールを頂くようになり、非常に喜んでおります。
全てにお返事出せずに申し訳なく(汗)、
大事に保管させていただいてます。

FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

〜はてなき空の向こうに〜

II

GANGAN COMICS

壱河柳乃助

FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

～はてなき空の向こうに～

2

壱河柳乃助（いちかわりゅうのすけ）

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO, INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

～はてなき空の向こうに～

CONTENTS

7月目

アルフィタリアの事情

3 シェラの里の人々

8月目

21 混血の姫 武人達の姿

9月目

53 計画の終わり 計画の始まり

10月目

85 ジャック・モキートの館

11月目

117 人と魔物

12月目

151 黒の大群と白の騎士

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

7月目
アルフィタリアの事情
シェラの里の人々

ムカ
ムカ
あーもぉ
ムカツク!!
アイツ等いつまでこんなとこに軟禁しとくつもりよ！
バカーーー
アタシ達は雫集めに来たのよ？
それがフォックスもいない ケージも無い
で訳のわからないゴタゴタに巻きこまれて…
シーベーグ！
こんなとこさっさと…
…………。

ドン
ル・ジェ！
どうか
しましたか!?
シシシ
シーベーグの
ああ頭が…
頭がもげ…もげ
あ
ああ
何だそんな
事でしたか…
何言ってんのよ
首が落ちたのよ
首が!!
首が落ちた
って事はつまり
……
って…
あれ？

ガシャ
ユークの仮面や鎧の姿は魔力を最大限に活かす為の仮の姿
城内を探索する為にアルフィタリア兵の鎧に乗り移っていたのですよ
ガシャ
ガチャ
ガチャ
もっともなれない体でいるのは消耗が激しく長時間はいられませんが…
…ル・ジェ？
なーるほどそうだったの…
つまりクレアとシーベーグは私だけ残してアルフィタリア見物を満喫してたってワケね…
ふる
ふる
え…いや別に楽しんでた訳じゃ…
もぉ怒った！
アタシも勝手に出ていってやるんだから
バーカバーカ
あーあ…

国王陛下お薬をお持ちしました
おお…済まぬなドニー＝ミルス
国王の薬に毒を盛れ！
病の床から一歩も出すな
いいえ
大事無い
少しむせただけだ
ザラ
ゴホッ ゴホッ
陛下!!

ドニー‼
ミルス…
だったわね
アンタか…
何か用か？
別にこの国がどうなろうと私達の知った事じゃないわ
でも
アンタ達は信用出来ない
俺をつけていたのか…案ずるな
ジャック・モキートの館には行くしミルラの雫もくれてやる
約束は守るさ
だからそれが信用出来ないって……
……外か

!?
何よあれ
大臣の組織した中隊さ
アレで3日後ジャック・モキートの館を攻める
皆の者!!
先日我々は諸君らおのおのの活躍により見事ティダの村攻略を果たした!

次はここより
南西の地
ジャック・モキートの館を攻める!
あの巨大なものは…?
あれは魔法兵器さ
ティダの村攻略にはまにあわなかったようだが今度は参戦するらしい
魔法兵器!?
そんなものをアルフィタリアが持ってるの!?
武の民なんかにそんなもの作れる訳がないって?
そうだな

タッ
アレを作ったのは俺達じゃない
♪
!!?
うわっ!
きゃっ!!
いった〜〜〜〜
〜〜〜ッ何だよ一体
マズ…ッ早くも脱走がバレちゃった!?
はっ

このクソ忙しい時に………？
…アンタ誰？
パーァァ
セ…セルキ…
アナタセルキーね!?
あ？
よかったー
ちょっとだけホントに
セルキーだから
出入り禁止なの
かと…
前回のクレアの
発言を気にしてる

何をしているデ・ナム…？
師匠！
貴女は先日ティパの村から来たという…
へぇ！アンタがそうなのか！
えっ まぁ一応…(？)
あれ でも室内待機ってなってなかったっけ？
うっ
来た…
貴方方のお手伝いをするよう仰せつかったのですよ
シーベーグ!?
話は聞いてます
魔術師マクシーム様 鍛冶屋スピラーン様ですね？

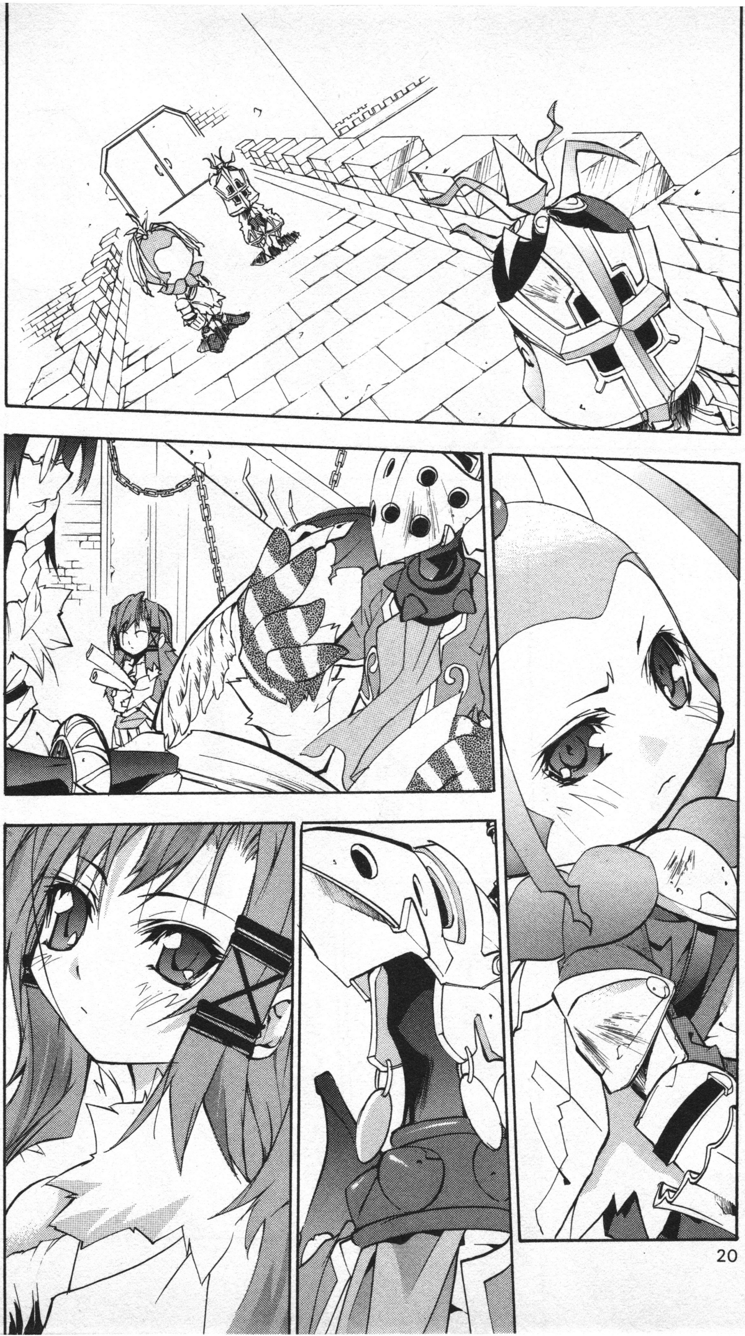
ちょっと
シーベーグ
どうゆうこと!?
先刻 兵のふりをしている時城の者に私の家業を話しそのように手筈を
彼らは大臣の依頼により魔法兵器の研究をしているシェラの里の権威です
かつて敵対していたはずのリルティとユークがこのような協力関係にあるとは思いもよりませんでしたが…
!?
ティパの村のシーベーグ…君か!
マクシーム様?
何と言う事だ
こんなところで会うとは!
え!!?
いやぁ 君の送ってくれた論文は興味深いものばかりで一度話をしてみたいと思っていたのだよ
遠方の者ながら君の父上は里でも知られた錬金術師だったが実に将来が楽しみ…
ぎゅっ
私もお会い出来て光栄です
いやいや今度ゆっくり君の研究についてくわしく話を…

シーベーグ…
何でそんな
ワキアイアイと…
彼とは以前
ティパの村にいる時から
何度か手紙の
やりとりをしていたの
ですよ
スピラーンよ
彼が以前お前に
話した
ふむ デ・ナムよ
お前も会いた
がっていたで
あろう？
紹介しよう
シーベーグ
彼はスピラーンの
下で研究をしている
デ・ナムという男だ
セルキーの
学者…？

ドニー＝ミルス!!
ソール…
どういう事だ ドニー＝ミルス
この薬は!
カサッ
陛下に薬をお出ししたのはお前だな!
何をあわてているソールよ
それはシェラの里から来ている者に特別に調合させたものだ
城下の者が知らんのは当然だろう
城下の街の医者を回ってきたが
誰も知らないと言うじゃないか!!
我々が城を出発した時よりも陛下の容体は悪化している
同期のお前を疑うような事はしたくないが
何をたくらんでいる!?

お前が大臣と共謀している事はクレア殿から聞いた
たのむドニーよ…私はお前を親友だと思ってる
正直に罪を告白し…
余計な事を…
甘いなソールよ
こんなヨソ者の言う事を真にうけて尻尾を掴んだ気でいるのか？
おまけに親友だと⁉情に訴えかけたつもりか？
笑わせる！
仮に俺が大臣と国王暗殺を企てていたとしよう
実行していたのは俺大臣は⁉
アイツは容疑を逃れ単独正犯として罪に問われるのは俺一人だ

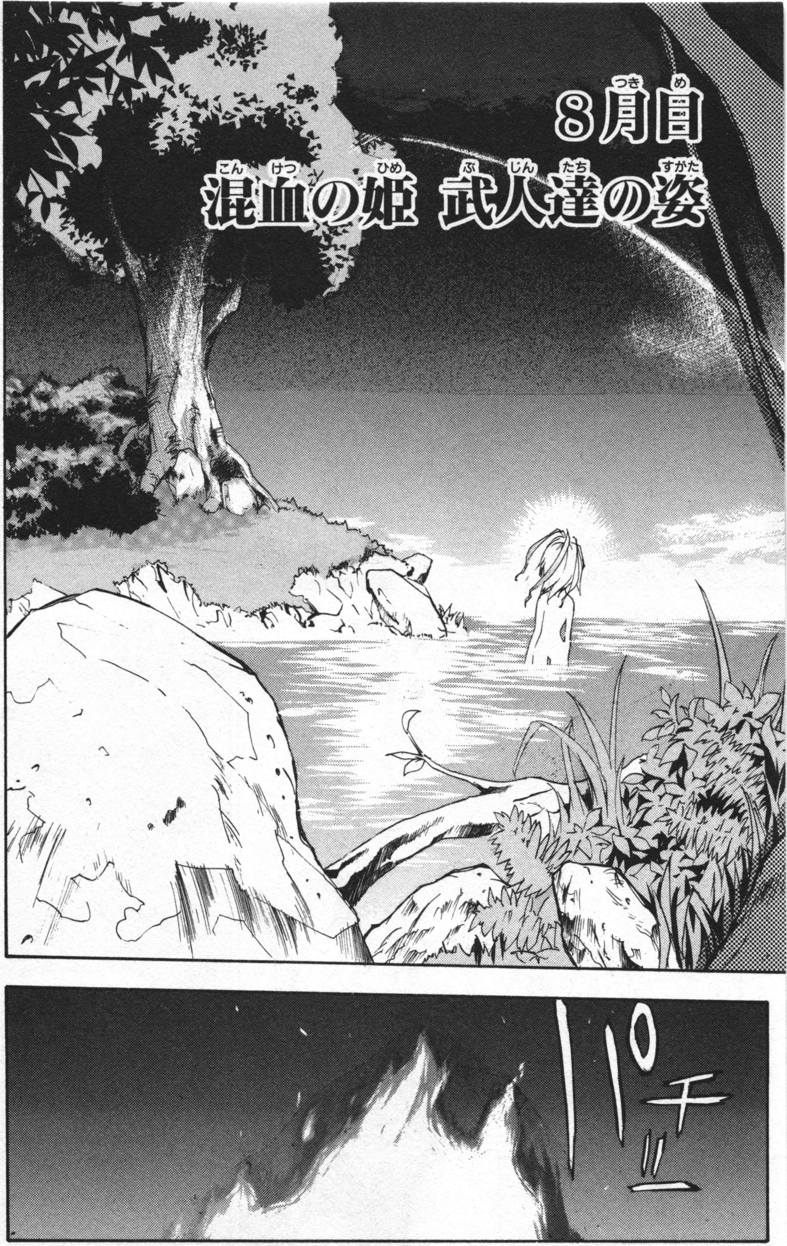
ヤツにはそれだけの力がある
そして部下もだ
俺を止めたところで他の者が大臣の命で動くだけ
お前は俺一人破滅に追い込む為に何を告白しろと言うんだ?
バカバカしい
まっ まてドニー!!ミルス!
ドニーー!!!



カラ
これくらいかな…
今夜はここで宿をとります各自準備を——
明日正午にはアルフィタリアに着くでしょう
明日か…
皆待っててくれてるのかな……
…早く会いたいな

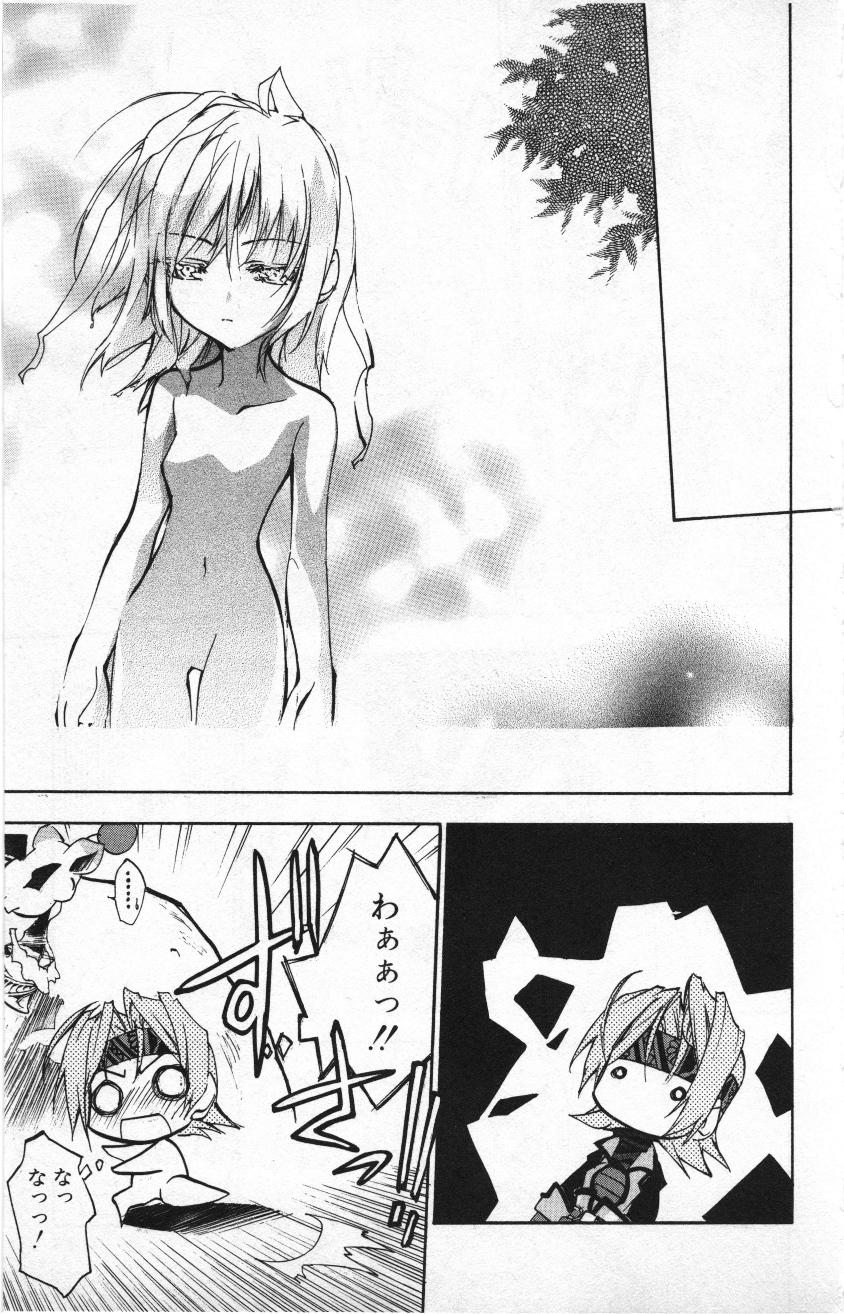
8月目（つきめ）

混血（こんけつ）の姫（ひめ） 武人達（ぶじんたち）の姿（すがた）



パタ
パタ
お手紙届けに来たクポ！
！
おつとめご苦労であーる！
誰からです？
……!!
これは…
薪集めてきました——
フォックス殿！
……え？

どうゆう事クポ？
さぁ…
ガサ
ガサ
会ってもう半月くらい経つけど…
この手紙を姫様に手渡して来てもらいたいのだ
僕なんかにこんな大事そうな事頼むかなぁ…
姫サマは？
確かこの先にいるって…
！


わぁあっ!!
……
なっ
なっっ!

ハダカ!?
ぼんっ!!
何であんな…
やっ水浴びなら当然
でも全然そんな事知らされて…
右ノ者大罪人ニヨリ逆サ吊リノ刑ニ処ス。
きゃあぁあ〜
ドス!!
よくも姫様のあられもない姿をッ!!
許さん!
誰?
ゴッ
ゴメンナサイあの……ッ
侍従長さんに頼まれてそれで…
ビクッ!!
……フォックスさん…?
ホントのぞくつもりは……

クス
ここしばらく湯にも浸っていませんでしたので……
少し水浴びを
そ…そうですか
フォックスさんも如何です？
おかまいなく…
ず――ん…
サラリと何て事言うんだこの人は――――〜!?
………
チャプ
少しお話をよろしいでしょうか…？
え…
フォックスさん
私の身体御覧になりましたか？
イヤあああ
打ち首。
とがびと
ふ―やれやれ

!
御覧の通り身体はほとんどクラヴァットの女性のものと変わりません
リルティらしい所と言えばこの髪ぐらい
リルティの国王の妃として迎えられたのはクラヴァットの女性でした
そして生まれたのが私
私 クラヴァットとリルティのハーフなんですよ

ハーフとは言え ここまでクラヴァットの姿をした私と私の母は
召使や衛兵全て リルティの民のみの城の中で異端でした
一部の城の者や城下の民の中にも
異種族の妃を迎えた王や私達母子を疎ましく思っている者達もいる
…では フィオナ姫は その自分の姿と御両親の事がお嫌いなのですか…？
そう考えた時も確かにありました
ガサ
ガサ
あっ
ベフォッ!!
べしっ
コリャ！押すでない見つかるじゃろ
スミマセン侍従長殿…

でも今は…何かこの姿に父の願った国の行く末を指し示すようなそんな意味を感じるんです
それに私を信じついて来てくれる者もいる
ノゾキは悪いコト…
…姫様
ついて来てくれる者たち→
その者達にむくいる為にも
この世界に起こっている危機に対し私は私の出来る事をする
父様と母様の国と民を守る為に…

メソ
ひ…
姫様…！
メソメソ
フォックス殿… 彼に行かせて正解でしたな…
姫はいつも何か悩んでいる様子だった… それも我々には話しにくい事
フォックス殿がクラヴァットでよかった…
姫にとって女王様と同じクラヴァットの者とゆっくり話す機会などもう幾年も無かったのだからな…
なにしろ女王様は…
そう言えばフォックスさん
何か用があって私を捜していたのでは？
あ そうだ 手紙を預っていて…

手紙……？
………かまいません
——よろしければ そちらから声に出して読んでくださいますか
はい… えっと
前略—— 貴女様の留守中 城内の事情 慎んで御報告 申し上げる
先日 ティパの村のキャラバン3名を城に招き入れる
——が 仲介役のクラヴァットが一時隊と離れてしまった為
——！
現在城内にて合流を待つ
同時期 大臣殿の命により
ティダの村を軍の進行により攻略 その際アームストロングを連行する
!?
見せしめとした後 城の地下にて死骸を安置

病床の国王陛下一時危きながらも
……
現在に至っては病状至極良好也
昨日大臣殿の独断によりティダの村に続きジャック・モキートの館の襲撃を決定
明朝本地に向けティパの村の者等と共に軍を出発させる事と相成り
大臣殿の勝手な振舞甚だしく――
一同貴公等の早期の御上洛――
ギク
ギク

切に御待ち
致す物也

！
バシャ
バシャ
皆の者槍を持て!!
姫様をお守りしろ!
姫!!
な………
クノック
フィエルナ!?
どうして…
いつのまに!?
姫早くこちらへ!!
！
……いない

何だったのだ 今 巨大な魔物の影が…
飛び去っていっただけ？
一体どこへ…
まさか！
あの方角は…
ジャック・モキートの館……？
いや たぶん アルフィタリアじゃあないよ
！
…何ですと…

──つまり俺達人間に酸素が必要なように…
魔物の身体にとって瘴気ってのはとても重要な要素と言える
瘴気に含まれる成分が魔物の血液を循環して細胞の働きを担ってるんだ
俺の研究ではな
では瘴気が無くなればおのずと魔物もいなくなると…？
あくまで仮説だがな確証は無い
パタン
だがアミダッティ達の調査でクリスタルの効果範囲の中ではヤツらは多少ながら弱体化する
ヤツら自身クリスタルの影響を受けているのは間違いないんだ

アミダッティ？
ああ シェラの里のキャラバンのリーダーさ よく変わり者って言われてる
フフッ セルキーでありながら勉学に勤しむお前があの男を変わり者呼ばわりか
お主の方こそ変わっていると思うがな
マクシーム様
クリスタル無しで瘴気の中で生きる為の研究などしてるお前に言われてはな
兵器開発なんてやってるから今は中断してるけどきっとやりとげますよ
それが俺の夢だからな
へぇ！そんな事考えてるんだ！

…………
すごいよねー クリスタル無しで 旅ができるなんて
もう危険な ミルラの雫集めの 旅なんてしなくて 済むし
町や村の クリスタルの効力の 範囲に関係無く 大きく出来るし
いいコト ばっかだよねぇ ——!
もしそんな事に なったら……
ル・ジェ 随分 気に入った ようですね
え…

なっ何言ってんのよ
別に私そんなッ
そりゃあこの城で
会った初めての
同族だしちょっと
安心したりしたけど
別に…
確かに彼の
研究は惹かれる
ものがある
そっちですか
………。
それだけに…
その魅力に
取り憑かれまわりが
見えなくなるくらい…
無謀な真似など
しなければ良いの
ですが…
…そう言えば
シーベーグの
研究ってさ
瘴気について
だったの？
マクシームさんと
そんなような事
言ってたけど…
父の研究を
受け継いだ
ものなんですよ

父が言うには
つねに未知をもとめそれに向かってただひたすらマイシンする事こそが
錬金術師の心意気だそうです
自分の命を犠牲にして手に入れた知識など
一体何の意味があると言うのでしょうか…
すみません突然こんな事…
早く戻りましょう明日は忙しくなるでしょうし…
そんなワケ無いでふよ!

ドニーさんがそんな事するなんて!!
アルフィタリアキャラバン隊員
エント=ダラス
同感です
確かに少々乱暴な方ですが……
アラン=ガイル
国王暗殺など…
本人が認めたのよ
そんな…リール隊長!!
!? クレアの声…
エント=ダラスよ クレア殿の言う通りだ
我々の前でドニーは全くごまかそうともしなかった…
アイツは…
アイツの口から反論の一つも聞いていれば私も信じていられた
キャラバンの仲間であるアイツを

では信じて
おられたらいい
貴方がドニーを
信じていたいなら
そうなされよ
ワシらは隊長殿の
意向に従い
ましょう
ゲンク=ワック
ゲンク
=ワックさん
…
………
ああ…
済まない
ゲンク=ワック
…
そう言う訳で
クレア殿
今回の事教えて
くださった事感謝する
彼を信じる
って……

奴は我々の仲間だからだよ
この状況で何を信じるって言うんです？
彼をほうっておくんですか!?
貴女ならわかるでしょう？
貴女方が仲間の無事を信じているように
ワシらも仲間を信じていたいのだよ

……
ブン
今日はもう遅い
明日 出発しなければならないのでしょう？ もう戻った方がいい
ばっ!!
!

シーベーグ
ル・ジェ!?
アンタ達
どうして部屋から
出て…ッ
いや
その…
迂回して先に戻って
ようと思ったのに…
同時に
来ちゃったよ…
どーせ
勝手に出て
うろついてたん
でしょ
ケッ
!
ム
………
…ごめん
――え…?
ここ来た日
私 アンタに
悪いコト言ったわ…
だから…
ごめん…

ベッ 別に気にしてなんか
…私も
買い言葉だったけど
悪かったと思う…
仲間…
フォックスはまだだし…ケージも無いけど
明日はゼッタイ雫手に入れようね！
…ええ！
………

やはりここに残っていた方がいいかもしれませんね…
!?
ケージがこちらに無い事には…
もうしばらくここでフォックスを待って…
アンタ等には行ってもらわなきゃ困る
!?
ドニー!! ミルス…
!
雫なんて後で移し換えれば済む
だったら何も問題無いだろう?
明日は俺とソールが残る
もしアンタ達がいない間に到着したら
ちゃんと説明しておくよ

アンタねえ!
バッ
クレア!
ドニーさん困るとはどういう事です?
アンタ達には関係無いのだがな…そうだな
そこの怖い顔した御嬢さんは明日残ってもらってもかまわないが…?
アンタさえよければ…な
……いいわ
クレア本気なの!?
二人共勝手な事してごめんなさい

私こういう裏でコソコソしてるような奴は許せないタチなのよ
怖い怖い…
話は済んだ もう寝な
明日は早いからな

姫様より通達!!
明日早朝アルフィタリアへ向け出発の予定であったが
急遽変更となった! 明日 我々は――
ジャック・モキートの館を目指す!!
戦闘の準備を怠るな!
では各自本日の疲れを残さぬよう休息をとるように!
以上!

ウッッ!! ゲホ ゲホ
侍従長!! しっかり!
もうわかくないんだから
街道に魔物が現れるなんてもう何百年も無かった事だという
あれほど巨大な魔物が出るなんて…
これも世界の異変の一端なのだろうか…
こうして僕は明日の為 眠りについた
ジャック・モキートの館
そこで全ての発端であるとある人物との出会いをその時僕はまだ知る由も無かった……

ドドド
ドド
ガシャ
ガシャ
……大丈夫かしら
ガシャ
ゴト
ゴト
何がです？
クレアの事よ たった一人で残るなんて…
ゴト
まぁ 大丈夫だと思いますよ…？
ガシャ
ガシャ
え…？
いえ ソール＝ラクトさんもいる事ですし
とにかく あちらの事は心配無いでしょう

ジャック・モキートの館は森の中にありまふから
森の手前の街道まで3時間弱そこで一度休憩する予定でふ
ザッ
ザッ
ザッ
森は魔物もいて危険でふが安心してください
先輩キャラバンとして必ず守ってみせまふよ!
ザッ
大船に乗ったつもりでいてください!
キャラバンとして…か
まったく…
私達いつになったら
4人そろって旅ができるのかなぁ…

9月目

計画の終わり 計画の始まり

……
この国がどうなろうと私達の知った事じゃない
でも
残るミルラの木をも独占し他のクリスタルの集落の者共に圧力をかけ支配する
このままでは私達の村まで影響するなら
あの大臣の好きにさせる訳にはいかない！
ザッ
アイツ等の悪事を暴いてやらなきゃ！
よく考えたらむしろ大臣を見張ってた方がよかったかも…
主犯はむこうなんだし…
はっ
私もシーベーグ達と行った方がよかったかも…
ガシャ
！
ガシャ

ガシャ
国王の容体が回復しただと!? バカなッ
ガシャ
ドニー!! 確かに薬を飲ませたのであろうな!?
大臣!? 城に残っていたんだ
バッ
おそらく誰かが解毒剤を
情報では今夜にも姫が到着される…
くっ！部下の中に裏切り者がいるという事か
あの小娘が戻るまでに全て終わらせるはずが
大臣殿
何だ!?
こうされてはいかがでしょう
姫の通る街道に刺客を待ち伏せさせ…

姫を従者ともども殺すのです
その姫の遺品を国王に差し出し
そして一言こう言えばいい
「御息女は旅先で魔物の手にかかり御妃様の元へ行かれました」…と
……フッ
ふふふ
ははは‼
まったく何と悪知恵の働く男よドニー＝ミルス！
国王を絶望に追い込んで自害させようと言う訳か
たとえ自害に至らず我々が直接手をかけたとしても欺けましょう
フハハ‼

よし
ワシの近衛兵を
刺客として
差し向ける！
これから国王に
謁見する
お前もくるが
いい
はい
ゲンク＝ワックさん…、
仲間を信じて
いたいのだよ…
たった今
理解したわ
貴方の信じようと
したあの男は…
どうしようも無い
下衆野郎だって
事を…ッ!!
こうなったら
私一人で…
あの男を…！
!!

ゴト
ゴト
ゴト
こんなに馬車から離れて歩いて大丈夫なんですか?
馬車に置いているケージの範囲から出たら障気が…
心配せんでもよい
スッ
これはミドルクリスタルと言って…まぁ携帯用じゃな
そこいらにあるものじゃないがソール殿も一つ持っているはずじゃ
まさかクリスタル無しで我々が城を出る訳が無かろう
そうでした…
ハズカシー
もう一つ同じものを馬車で休んでおられる姫様が身に付けて……
………

——姫様に聞かれぬようにお主に少し話しておきたい事があってな
!
昨夜の事…おどろかせてしまったろう
え…ええまぁ
いろいろと…
聞いた通り姫様はクラヴァットとリルティのハーフじゃ
そしてその事で悩みをかかえておられた
姫様には悩みを聞いてくれる者が必要だと考えられた国王陛下は
フォックス殿お主を呼んだのじゃ
正確には王妃様と同じクラヴァットの者をな
え……
仲介人と言うのは単なる口実に過ぎないのじゃ
騙してしまって済まない
——いえ

僕も薄々おかしいとは思ってましたから
…でも…本当の理由って言うのもお役に立てるか…
悩みなど人に打ち明けるだけで軽くなるものじゃて
ワシはお主で本当によかったと思っておるよ
何より歳の近い者同士の方が都合がいいそれに…
姫様も幼くして母君を亡くされたのじゃよ…
…知っていたのですか
ワシは昔お主の父アリオン殿にも面識があってなすぐわかったよ
ミルラの木の保護の計画は本当じゃただ姫様の事はあくまで自然にの
心の問題じゃあまりおおっぴらにしたくなかったのもある
姫様自身にも悟られぬようにしたい
！

親が自分の娘の為に何かするのは普通の事じゃないですか？
何もそこまで偶然を装わなくても…
陛下は多忙な方だ
王妃様が亡くなられ
幼い姫様に寂しい
思いをさせておきながら
今さら何をしたらよいのかと…
陛下は姫に対し臆病になってしまわれた…
ただ娘の為にしてやれる事は無いか いつも考えておられる
たとえそれが姫からの感謝という形で戻ってこないとしても
ガチャ
陛下
ラウド=ブラグ大臣が謁見を求めて来ております

わかった…すぐそちらへ行くので待っておるように…
それにはおよびませぬ
大事な御身体の事お手をわずらわせるのは忍びない
御健勝お慶び申し上げる国王陛下
スッ
……大臣
其の方には苦労をかけた

床についている間の事はドニーから聞いておる
ティダの村の遠征御苦労であったな
はい
現在 私の部下の者が宿営地を建て交代で彼の地を見張っております
無事ミルラの木を我々の管理下に…
間も無くジャック・モキートの館の制圧も成りましょう
うむ…
制圧……か
引き続きミルラの木の事は其の方に任せる極力穏便にな
魔物と言えど無用な争いは避けなければならない
彼らの土地を騒がせる事の無いようにな

仰せの通りに…
フン…何を戯言を魔物共を擁護するその態度……それこそ王たる信望を失った要因よ
魔物など我々「人」にとって害以外の何物でもないのだ!
それを殺して何が悪い!?
魔物を庇い立てする王など認めぬ!
黙って自分の安否でも案じておればよいのだ
今日はまだお休み下さいませ
病いがぶり返すとも限りませぬ
心配無い
ドニーが良く効く薬をくれたのでな
飲んでもう数日様子を見たが毒の効力は完全に死んだようだ

ドニー＝ミルス
裏切り者…貴様だったのか

いや…始めから
ワシをだますつもり
だったと言うべきか
頭の回る男だと
思っていたがよもや
ここまでとはな
アンタが王に
なる事には
興味ないんでね
ただアンタの
無能の部下共は
本気でアンタの事
支持していたし
近くにいたら
やっかいだったからな
ジャック・モキートの館へ
行っているこの時を
ねらったのさ そして
ダメ押しで近衛兵を
遠ざけた
しばらく見てて
確信したがここまで
無能な上司 俺は
遠慮願うよ
俺の上司は
ソール=ラクト隊長
だけでいい

大臣…
陛下…情の厚い貴方の事
しかし反逆罪は死罪と法で決まっている
キャラバン隊長殿とティパの村の小娘か
法は私の定めたもの
スッ
自ら違えては民に示しがつきませぬ
ドニー＝ミルス
ワシを斬れ
危険を冒しワシの策略から王を救った
褒美にこの命くれてやる

そんなもの別にほしくもないが…
…わかった
チャ!!
!?
ドニ――――ッ!!!

ソール!?
ぐ…っ
陛下ーーーッ!!!
ア
貴様が
王に相応しい
はずが無い
他種族の姫を迎え
我々人間の害悪で
しかない魔物を
かばうような王に
!!

王の資格などあろうはずが無い!!
ギッキン
!!
……な
ル・ジェとシーベーグは雫を採りに…ドニー=ミルスは無実…
ギギ
ギギ
ここでアタシが何もしないなら

ここに残った意味が無い!!
私はアンタの命なんて褒美でもいらないからね!

……
ソール!?
ソールしっかりしろ!
ソール=ラクト殿!
心配するな…
大した事は無い…
…俺が悪かった
皆を巻きこむまいと思っていたくせに俺は…
最後まで俺一人で解決させればよかった
…ソール
そのようにしむけておきながらお前に疑われている事に耐えられなかったんだ…
済まないソール…

謝るのは私の方だドニー…
直前になって皆に全て話してくれるまで一人危険な橋を渡っていたお前を心底信じてやれなかった
許してくれ
陛下…!
いや…全ての責任は私にある
陛下!?
ラウド=ブラグ…あの男は昔
クリスタルキャラバンだったのだよ
!
その昔…この男がたった一人で旅から戻ってきた事があった
ボロボロで…雫だけを携え衛兵が他の者はどうしたと尋ねると
「仲間は皆魔物に殺された」と言った

……
あやつは魔物を心の底から憎んでおった
私はそんな大臣をいさめてやる事が出来なかった
私に相当不満を持っていた事だろう…
ス…
…何故ですか陛下…
貴方はいつもおっしゃられる…何故魔物を殺すなと…
我々にとって魔物など害以外の何ものでも無いはず

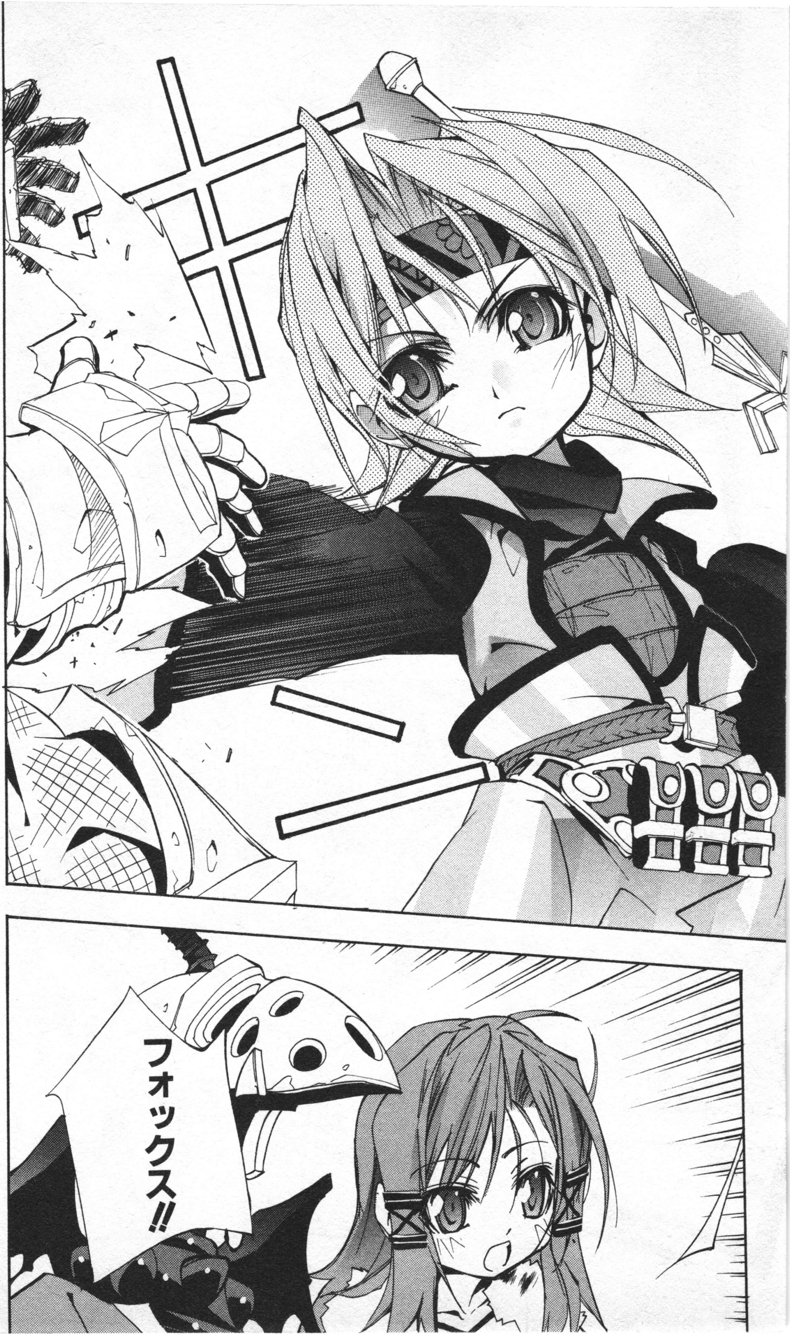
魔物達を騒がせてはならん
無用な争いは避けねばならんのだ
魔物を侮ってはならん
………
そう言えば…
やけに魔物をかばいたがる人がもう一人いたっけ…
まぁそれとは少し違う気がするけど…

姫・・・
お姫様は!?
大臣の刺客が待ちぶせしてるはずじゃあ…
心配しなくていいクレア＝ギルダ
え?
姫はここへは向かっていない
陛下…
姫の帰還はもう少し…
かまわぬよ
姫が無事ならばな…
ここへ向かっていないって…
だったら一体…
考え無しに刺客を送るようにしむけたと思うか?
――そうだな
…今頃…

バキバキ
ギャアギャア
進め――ッ
ズゥー
ゴト
なーにコレ感じ悪ッ!
ゴト ゴト
まぁ 木を倒しながらじゃないとこんな大きなもの通れませんからねぇ
でも少し遠まわりすれば馬車も入れる道があったんでしょ?
車両内パパオ(馬)内蔵↓
こんな事してショートカットするなんて…
それだけ大臣が急いでたって事じゃよ
この口調は…
ゲンク＝ワックさん?

だがそれも
しばらくの辛抱じゃ
もうそろそろ僕達以外は城に引き返す事になると思いますよ?
え それって…
どうゆう…
オイオイ見てみろよコイツ——!
うわ何だコレッ
スゲーこれが魔物ってやつか
ぷる
ぷる
ぷる
キャラバンじゃなきゃそうそう見る事無いもんな——
…? アラン=ガイルどうした?
何かおびえてないか?
槍で突いてみようぜ
魔物です
若い奴がトンベリコックを見つけたようですね…

何？まったく…
ゲンク=ワックさん？
問題が起こる前に少し行ってくる二人とも…
何だキサマ!!
やめて下さい！怖がってるじゃないですか
しかもこんな無抵抗な相手を！
何だお前魔物をかばうつもりか!?
あれ…この声聞き覚えが…
田舎者のクラヴァット風情がリルティに指図するんじゃない！


フォックス!!

魔物と言えど僕達に無為に命を奪う権利なんか無い！
チャキ
キサマ————ッ
お止めなさい!!
ビクッ
誰の命令でこの地に参ったか存じませんが
この方に危害を加える事は私が許しません

即刻この地から兵を引きなさい
アルフィタリア王女として命じます

10月目（つきめ）
ジャック・モキートの館（やかた）

色々御世話になりました
貸しておいたミドルクリスタルはむこうでゲンク=ワック達に返してくれればいい
本当に仲間と合流した後はもうここへは戻らないつもりか…?
昨日から皆で決めてたんです
フォックスと合流出来次第すぐ旅を続けると
確かにフォックス殿は姫と同行しているとの事だが…
もう少しゆっくりしていってもよいのでは?
ドニーさん一ついいですか?
いえ ミルラの木が危ぶまれている今新米の私達には時間がいくらあっても足りないかもしれませんから
………
何故 邪魔になりかねなかった私に城に残っていいだなんて

まぁ…誤解されたままというのもな
俺だけじゃなくアルフィタリアの印象まで悪くされても困るし
——しかし
せっかく来たのに城に籠もりきりにさせてしまった
……
陛下を守ってくれたのに礼も…このまま行かせてしまうのは…
そうだ！おわびに街を案内させてはくれないか？
はっ
ドニーお前まさか…
フフッいつからそうなんだ？ドニー
なッ何を言っている！俺はただ…
そりゃあ必死に引き留めもするよなぁ？
なんだ？瘴気ストリームで槍を向けられた時からか？ん？
うっうるさい！
オヤジかお前は
ニコ
——また日をおいてデートのお誘いでしたら喜んでお受けします

あ
ああ…
否定しないのだな
フフ…
ザザッ
!
何だ
アルフィタリアの
キャラバンはもう
雫集め終わったのか?
ライン=ドット
へえ
色々ややこしい
事になってる
のに流石だな
ロルフ=ウッド
ルッツ=ロイス
おお!
マール峠の
キャラバンじゃ
ないか
マール峠?
ここに向かう
途中にあった
集落だよ
急いでいたので
物資補給だけ
してすぐ発って
しまったが

ロルフ＝ウッド殿 ややこしい事とは もしやミルラの木の事では…
ああ やっぱ 隊長さんも 知ってたんだな
それと 関連があるのか 知らないが もう一つ
ミルラの木のある 場所の一つ カトゥリゲス鉱山の オーク共が
キレイサッパリ いなくなっちまってたんだ
魔物の 失踪!?
そこでも か…
我々の方でも 他2か所で 同じ現象を 確認しているが
オークの持ってる アイテムが ほしいんだ けどね――
ま おかげで 雫は楽に手に 入ったけどさ

あと残り1/3 どうしても集まらないんだ
他のキャラバンもこの状況の中雫集めに苦戦を強いられている…
新米だなんだと言ってられる状況じゃないんだ
ケガはない？
ハイッ あの
スミマセン 御主人様が待ってますのでこれで…
！
ありがとうございました
ペこ
あ…貴女は…！

部隊が戻っていく
姫の命令じゃからのう逆らえはせんよ
何にせよ これで静かに…
――ル・ジェ殿はどこへ…？
あれ？
あっ
フォックスー!!
ル・ジェ
シーベーグ！
あーあ…
二人ともひさしぶ

シーバーグ（まきぞえ）
フォックス
何しょげた顔してんだコノヤロー！
くらっ
ギラ・ム
今までドコほっつき歩いとんのじゃーーーッ!!
セルキーが出会い頭に殴るんです…
ジャック・モキート様に面会？
ええ 約束した予定より少し早いですけどこれから大丈夫かしら？
はい
多分大丈夫だと思いますが…

ねぇ 何でアンタがアルフィタリアのお姫様とこんな所にいるワケ!?
ぐりぐり
イタイイタイ
それよりこの場合…
あのように魔物と人が普通に会話している事の方が気になります
あのトンベリコック…アルフィタリアの女王と面識があるようですが
私からお話ししましょうか
ル・ジェ殿にシーベーグ殿
私はクノックフィエルナ侍従長を任されている者じゃ
ここまでの道中御苦労である

ドニー＝ミルスが!?
姫様が城を出ている間 遂一手紙で状況を伝えるよう動いていたのだ
その中で この地への大臣の部隊の侵略を知る事ができた
それを阻止した上でお主らが無事我々と合流するよう計ったのじゃ
なるほどね── それであの時 行ってもらわなきゃ困るって言ってたんだ
ところでシーベーグ
アンタ ホントは全部知ってたんじゃないでしょうね!?
だから心配ないとか
う。。。
…昨夜二人が眠った後 ドニーさんに聞きまして…
クレアの事を何も知らぬまま置いていけませんでしたし
スミマセン 部隊が引くまでは誰にも言うなと言われてたんですよ
…また私の知らないトコロでそんな事を…
しかもフォックスも一人でどこでとったのかちゃっかり1/3雫入手済みだし…
ひいっ
ギ
ラッ

おのれら
そろいもそろって
アタシを除け者に
する気!?
ニコ
ニコ
ギャ~!!
?
あの
もう着いたん
ですけど…
ジャック・モキートの館

おおっ
よーし
ミルラの木目指して
暴れまくるわよ――ッ!!!
ええ――
――ッ!!?
ル・ジェ 今日は戦いに来たんじゃないんだよ? 暴れるなんて…
わ!!
迷子ボーヤは黙ってな!!
こっちはアンタを待ってる間 城のイザコザに巻きこまれたりで ストレスたまってんのよ――!!
うおーっ
そ…
迷子ボーヤ…
ばっ
お待ちくださいい!!
!!

アルフィタリアで
貴方方が気分を
害されたのならば
全て私の責任です
おわびにまた改めて
城内で出来る限りの
お持てなしをさせて
いただきます!!
ですからどうか!
どうかこの場は
お収めくださいませッ
あっ!!
わわわ
わかりました
わよ!!(?)
ずいぶんと
大胆なお姫様
なのねぇ…
あやうく
チチもまれる
トコだった…
ええ
まったく…
うるさいぞ
貴様等
人の邸の前で
何をやっている!!?

この昼間食事もまだだと言うのに…
ジャック・モキート
………お前

食事の支度もせずに何を油を売っている…？
ひっ…ごごめんなさい
御主人様あの…
……ッ
チャキ
……っ
!

……
フン
フイ
入れ
食事しながらでよければ 話は聞いてやる

……
侍従長さん どういう事です？
魔物が我々を住処に自分から入れるなんて…
エヘヘ…
ふむ
ヒゲ
？
人を襲う魔物が…!? 何故？
ここでは事前に申請さえすればミルラの雫を求めるキャラバンなら通してくれる
もちろんこんな事はこの場所くらいじゃがな
ポヨ
ポヨ
ポヨ
モグー!!
ぎゃあああぁ
さぁのう こればかりは本人に聞いてみない事にはわからんよ

じゃがそれはまた後で聞いてくれよ？
これから姫が館の主人と大事な話がある
悪いがミルラの木もその後じゃ
え？姫の話って
館の主人と話すのはフォックスじゃないの？
……
どんな用なのか…大体想像はつく

お前達にとってミルラの木はこの世界で生きる為の生命線
そのミルラの木が各地で破壊されていると言う事であろう
はい それと
……
各地で魔物が失踪するという現象について…
目的はミルラの木を我々の保護下におく事
一国の王女が出向いてどこまでこぎつけられるか
ーー
ーー
あやつは他の魔物とくらべ多少協力的ではあるが…しかし

……
話は分かった
…ところでだ
…王女よ
そこにそうして
座っていると
この料理のように
俺に食われる為に
そうしている
ような気分に
ならんか…？

なあ
フィオナ王女――……
姫が！
貴様アッ!!
何大人気無いコトしてるのよアンタ

こんな小さな子達からかって楽しいワケ？
みっともないわねぇ
マギー（ミセス・モキート）
マギー！
フー…
しかも…
そんなボーヤに後ろをとられるなんて
！
え…からかってって…
冗談…だったんですか…？

おー〜
いつの間に…
フォックス…
ココ。
俺が妙な動きをすればすぐ斬れるように後ろの暖炉から見張っていたのか
そういう事だ…まったく
大したボディーガードだ
パァァ
マギー奥さま！
まぁよく来たわねフィオナちゃん
御久しぶりですっ！
ハイ♡
ガタ
ガタガタ
な…なんじゃありゃあ…

ごめんねー ウチのバカ亭主が変な事しちゃった？
俺がキャラバンを通すのは暴れられるのは面倒だからだ
必死にむかってくるキャラバンを追い返すよりさっさと雫をわたして帰した方が楽だからな
はい！未遂でした
あれは冗談だと言っている！
だがあくまで我々が魔物という人とは相容れない存在だと忘れぬよう…
ねぇ フィオナちゃん考えてくれた？
聞けよ!!
姫サマー!!
ヒゲ
ちょこん
アタシの娘になる気はない？
フィオナちゃん二種族間のハーフでしょ？ 昨日もダンナと話してたのよ
もしアタシ達の間に子供が生まれたら
きっとフィオナちゃんみたいなかわいい女の子が生まれるんじゃないかって

——ごめんなさい お気持ちは うれしいのですが
これでも 一国の王女 ですから
なんです そのいいぐさわっ
そう… 残念ねぇ
マギー あまり無茶を 言うものじゃない
何よアンタ! アンタは私達の 愛の結晶が 欲しくないの!?
その娘にも 自分の家族が いるのだ
…似てますね 彼らは…
え?
アルフィタリアの 王族とこの館の 住人の事です

クラヴァットとリルティ
ギガースロードとラミア
ヒトと魔物の違いはあれど同じく異種族間の夫婦として暮らしている
そんな彼らだからこそ今のような関係が築けたというところがあるのかもしれませんね
……
姫〜!!
フォックスと言ったか
表で家来のトンベリコックが世話になったようだが…
迷わず俺を斬りにかかるとは
魔物に対し考えが甘いと言う訳ではないらしい

いない方がいい生きものなんていないと思います
そうしなければ守るべきものを守る事なんて出来ないですから
でもむかってくる者があるのであれば躊躇してはいられない
フン故郷を守る為…か
キャラバンとして周到な心掛けだな
いいだろう
この地にあるミルラの雫はくれてやる

これがミルラの木…
キレイ… 初めて見るわ

そして初めてじゃない奴が一人…
チクッ
ジジ
びくっ
…ミルラの木はキャラバンに雫をもたらすだけじゃない
その地に住む魔物達の信仰の対象であり
権力の象徴でありまた魂の拠である
それぞれの土地にもよるが魔物にとってもミルラの木とはその存在そのものに大きな意味がある
この地で育つ作物はあの木の影響で何倍も大きく豊かになる
それを食糧としている俺もその恩恵に与っている
だがお前達がいたのではせっかくの食事も落ちついてありつけんのでな
雫を持ってさっさと出て行ってほしいものだな
…御迷惑おかけします
ゴト

！
ミルラの木が

二人までだ
え?
ミルラの木の見張り役としてそちらの兵二人をこの館に置かせてやる
あの木が何者かによって脅かされているのならばな
もちろんこの地においてこの俺がそんな勝手な真似は許しはしない
魔物の失踪については知らんが
俺もミルラの木の恩恵に与る者として
お前達が俺の関知せぬ地でもその脅威と戦うのならば

我々はお前達に協力しよう
もちろん全て終わったら出ていってもらうがな!
——御協力感謝します
………

ピクッ
この違和感は——……
主？
いや……
——奴らはどうしている？
アルフィタリアの姫はマギー様と部屋におります
ティパの村の者共はまだミルラの木の下に
…まだ居すわっているのか…
…私は正直安心しています
——あの日

主が初めて「今後クリスタルキャラバンに危害を加えない」と言った時
正直申し上げて私は主に不信感を抱かずにはいられなかった
しかし今思えば主の判断は正しかったように思います
マギー様と主の顔は以前とくらべ穏やかになられた
――昔どこかのキャラバンの青年が言っていた
「家族は何ものにもかえられないもの」
「それを失う事にくらべれば誇りなどどれほどの価値があろうか」と

今から思えばあの男は…
それを失った事があるという事なのか
11月目　人と魔物

もう行ってしまうの？
はい でもまたすぐお邪魔させて頂くと思いますが
いつでも来てくれていいのよ？
本当はおまけ付きは願い下げだけど
じと～…
おまけ達↑
いつでも相談に乗ってあげる
だから何があってもくじけないで
私達はあなたの味方だからね

魔物とは何だと思います？
本来の「人を襲う」だけなら動物にもある事
何よシーベーグいきなりそんな話をして
魔物は子供を産まない
ペタ
！
シェラの里のマクシーム様の話では誰も魔物の誕生の瞬間を見た事が無いそうです
動物や植物がそうであるように子孫を残す事が生物の原則と考えるなら
魔物は生物とは異なる存在だという事になる

デ・ナムは瘴気が無くなれば魔物もいなくなると言った――……
記録によると瘴気などもとからこの世界にあったものではなく
魔物が現れるようになったのも瘴気の発生以後だとか
では魔物はどこからやってきたのか
魔物の存在理由とは…
…幸せになる為…かな ――少なくとも
ジャック・モキートさんは平穏な生き方を選んでキャラバンと戦うのをやめてる
そうやって自分の家族を守ってる
僕達と何も変わらないよ
くだらんな

お前達いつまでここにいつくつもりだ？
雫を持って早々に出ていくように言ったはずだが？
……
うっ…。
あの…もう一人仲間が来る予定で僕達ミルラの木見るの初めてだし…
後から来る仲間も…ここでもう少し待たせてもらいたくて…
御主人様……
はぁ〜
ザッ
夕食までいたら追い出すからな

…正直ここまでは許してくれると思わなかったけど
…たぶんフォックスに助けられたあのトンベリコックの恩を汲んでくれたのでしょう
なるほどね
こりゃ結構な家族想いだわ
……
ル・ジェ！シーベーグ！
すぐ近くに馬車が来てるんだって
クレアが着いたんだよ！
伝えにきましたー

ガララ
！着いたか
エント＝ダラスさんとゲンク＝ワックさん！
？？
ここは少々他と都合が違うのでな
？
お主を待っておった 他の者はもう中におるよ
皆の所まで案内しよう
！ああ大丈夫でふよ
ここでは魔物と戦わなくても…

――サハギン!?
バカな…この地にサハギンなど出るハズが…
ギチチチ
人間の来訪に対して手厚い歓迎とは
魔物でありながら粋狂な計らいをする

我々も丁重なもてなしを期待しておくとしようか
なあ？
ジャック・モキート

姫を守れ!!
魔物を近づけさせるな!!
何故だ…どうして
出現るハズの無い魔物が出る!?
スケルトンなど…!!

ドッ
キチチ…チ
……ル
強い… 2体の魔物を一瞬で
ギィ…
遅かったわね クレア!
…
ドドザッ
これが アルフィタリアのキャラバンの強さ
!
何よ あれ!

サハギン!? 何故
水棲の魔物が
こんな森の中に…
シーベーグ殿！
中は変わった様子は
無かったか？
キィン
ガギ
いえ ここに
向かう分には
特には…
フリートークタイム！
―フォックスは…
この音は…
いかん！ 中でも
戦闘が行われて
いるのか
早くミルラの木に
戻らないと！
置いてきた
フォックスが…

ピラッ
ドカーン
魔物とは本来人を害し恐怖を与えるもの
貴様はその理を違えた
オオオ
ゼェッ
な……ッ!?
ドドドド
ハアッハッ

クリスタルの――
ジャック・モキートさん…!!
!!
御っ…

今一度瘴気の中に還るがいい
——剣!?
御主人様——!!!

ジャック!!
ウチのダンナは…!?
ぐっ
時よ――ッ!!
退きなさい!!!
あんた達いつまでも……ッ
邪魔よ!!

キュイーン
キュイーン
スロウガ
ろ
!
ドドーン
!
敵の動きが遅くなった!
マギー奥様!?

オ…
オオオオッ
魔物は瘴気と共にあり人は瘴気の中では生きられない
そして人と魔物は互いに仇なすもの

クリスタルは瘴気をはらい人を守り
間違い無い…あの人はリバーベル街道の…
縁があればまた会いましょう
ミルラの雫はその力を保つもの
でも何か雰囲気が違う!?
ミルラの雫を生み出すミルラの木など
我々魔物に必要無い
!?

ギリ
!?
…………ッ!!

朽ち果てろ！

ドッ
養分を吸い尽くされたように
枯れたミルラの木がコナゴナに砕けていく
この人がミルラの木を!!
ジャック!!

!!
マギ――
来るんじゃない!
ジャック あんた
その腕…
……え?
貴様もだ
魔物の理に
還れ

マギー!!
ブジャ
いやあああああッ

カシャーン
マ…
…ギ…
うおおおあああ!!!
!!
貴様アアアアアアッ!!!

だめだ
ジャック・モキート
さん
貴方まで
黙れ
子童ァ!!
妻が目の前であんな
殺され方をして
黙っていられる
かあああ

待って…
あああああ!!!
やめるんだ…
やめろぉぉぉッ!!!
ガシャ
ガシャ
バッ
マギー奥様ッ!
!!

…どうして
こんな事を……
貴方は同じ魔物だったんじゃないのか…？
…クスッ
フォックス！
これから死ぬ者がそんな事を聞いてどうする

全て忘れ土へ還れ
フォックス殿!
!?
ガラ
ガラ

!!?
ガラ
!
ドド
姫!! 早く お乗りを!
むん
クポッ!?
ドォっ
姫様! この館は魔物に囲まれているわ!
後ろの馬車へ早く!
ガラ
ドドン

ドカッ
ガラッ
バサ
バサ
逃げたか…まぁいい
ほんの少し寿命がのびただけの事
死の運命からは逃れられん
バサ
バサ

瘴気につつまれたこの世界に
お前達人間の生きる場所など無いのだから

クリスタルは瘴気をはらい人を守り
ミルラの雫はその力を保つもの
ミルラの雫を生み出すミルラの木など
我々魔物に必要無い

12月目
黒の大群と白の騎士

ガラララッ
追手も無いようだし少し速度を落としては？
森をぬけ本街道に出るまではこのままつっきる！
事態を早く陛下にお伝えせねば…
それに…
ドドドド
前を走るシーベーグ殿達が速度を落とさない
フォックス殿に何かあったのかもしれん

どうしたのよ
フォックス！
フォックス!?
もしかして瘴気にあてられたんじゃ!?
我々が来るまでの時間からしてそれはないとは思いますが……
どうするの!? 一度止まってちゃんと見た方が…
いえ
すぐアルフィタリアに戻りましょう また何があるかわからない
せめて安心できる場所へ

ガシャ
大臣の様子は…?
ガシャ
おちついております
お待ち下さい! 今 彼は拘束されておらず不用意に近付いては…!
ガチャ
かまわぬ
調子はどうだ? 大臣よ
…次に目を覚ました時は独房の中だと思っていたのだがな…

わざわざ陛下自ら
お越しとは
処刑の日取りの
通告なら兵にも
出来ように
……
先ほどお主の部隊が
フィオナの命令を受け
戻ってきた
それは何より!
姫の安否を
確認できる上
ジャック・モキート等とも
関係をこじらせず
済んだ
彼らはこの国にとって
ごく身近にある
脅威の一つだからな
友好関係を保てるの
ならばそれにこした
事はない
その為に大事な
姫を矢面に立たせる
価値は十分あると
いうわけか…フッ
笑わせる
口を慎め!
フン
大臣

今度の事は全て不問とする
これからもアルフィタリアの為尽くしてもらいたい
不問…
だと？
ふざけるな！
戦い方が残忍だとキャラバンを外されこの十数年ずっとやり場の無い憎しみをかかえて生きてきたのだ!!
俺を殺せ！反逆者として民に俺の首をさらすがいい!!
やはりお主が政権を奪おうとしたのは…
かつての仲間を殺した魔物に復讐する為か

復讐だと!? ああそうだな!
戦いでしか生き方を見いだす事が出来なかった俺を戦場から遠ざけた奴!
その張本人にあの時一太刀でも浴びせられたら多少満足出来たろうになァ
聞けラウド=ブラグ! 仲間を失ってからお主は変わった
命をつむぐ為のミルラの旅がお主にとってただ魔物を殺戮する為のものになってしまったのだ!
その傍若無人な戦い方は新たに加えた仲間をも危うくした
ギリ
だからお主をクリスタルキャラバンから退かせた!
出来れば私は…
誰よりもこの国を想っていたお主に大臣として国を守り続けて欲しかった
ガゴッ
黙れ!!

ズル
全てどうでもよくなってしまっていた…
かつてボロボロになってまで守ろうとしたこの国さえも……
もう疲れた
もはやただの罪人になり下がったワシを生かしておいて何の意味がある!!
お主は英雄だ
ボロボロになりながらも必死でこの国の命をつないでくれた
その英雄をそうやすやす殺す事は出来んよ
…そのような事をしようものなら

私をふくめ この国の民に今も そう信じている者は 少なくない
私はお主を今も 英雄としたう者達に 面目がたたなく なる
フッ
自分を抑えこんで まで今までよく 尽くしてくれた
今夜はもう 休むといい
お主を 大臣の官位から 外そう
ガタ

ザワ
ザワ
ザワ
フィオナ…
!
御父様(おとうさま)…

ジャック・モキートさん達が…
すみません どこか安静に出来る場所は!?
こっちだ!
──!あの娘
ライパの村のキャラバンが戻ったのか
!
何か落としたわ
ゴソ
何だ?
ガサ
ガサ
!オイ これって…

見た所
気を失っている
だけのようだし
その内
目を覚ますとは
思うが…しばらく
様子を見るしか
ないな
気が付いたら
すぐ伝える
から
フォックスが
気付くまで
看て…
君らも今日は
休むといい
あの…
出来れば
わかりました
あっ

フォックスの事
よろしくお願い
します
……
——うむ
私達がいても
邪魔になる
だけよ
てく
てく
どうしたのよ
突然？
てく
てく
…あいつ
旅に出てから
なんだかんだ
言ってずっと
一人だったでしょ
ついてないと
あいつまた
一人になるんじゃ
ないかと思って
何言ってるクポ！
フォックスには
ずっとモグが
ついてたクポ！
アンタただの
ケージ運び
役じゃないの
村にいた
頃…

フォックスが剣の稽古をしてる時や
私がボロボロになった剣を直していた時…
ぐい
ぎいやあああ
ぐぐい
私 キャラバンはフォックス一人だけだと思っていたわ
……え
アイツ一人で大丈夫なんじゃないかとさえ思ってた
でも今度の事といいリバーベル街道でも危なっかしくてしょうがなかったわ
そうよ！だからよけい心配して…
それでもアイツしっかり一人で雫とってきたんでしょ？
それがアイツの役割だったっていうなら
……
私らにも他にやる事あるんじゃない？

ようアンタ達
捜したよ！
大変だな
仲間が倒れたんだって？
！
貴方達は確か
マール峠の…
捜してたって…
ちょっと
気になる事が
あってね
コレ アンタ等が
落としたもの
だよな？
！それは
デーモンズ・コートで
見つけた…
ひょっ
勝手に見て
すまなかったが
私達実はミルラの
旅の傍ら色々な
鍛冶素材を
集めているの
気になったって
言うのは
これの事なんだ
せまい
デーモンズ・コートで
手に入れたと言ったが
この牙はドラゴンゾンビ
ってとんでもない
バケモノのものさ
さいはての地
レベナ平原の湿原に
住むドラゴンの牙
そこいらにあるもの
じゃない

アンタ達ジャック・モキートの館でサハギンに襲れたんだってな？もしかして…
話がありますとても大事な…
デーモンズ・コートにドラゴンゾンビが現れた事と同時に
湿地で多く現れるサハギンと共にあの場にも奴がいた可能性がある
ザザッ
！シーベーグ
これから大変な事になりそうですよ
ともかくこちらへ
マール峠のキャラバンの皆様も同行して頂きたい

ジャック・モキートの館に現れた仮面の騎士
その者が全ての元凶と考えて間違いないだろう
黒騎士と名指しされる者が街道に現れると聞くがそれとは違うのか？
黒？
別人じゃない？アイツどっちかって言うと白ってカンジだし
それに気になるのは各地で起きている魔物の失踪とのつながり…
コナル・クルハ湿原で失踪したサハギンやドラゴンゾンビをつれていたと思われる白の騎士

マクシーム殿
これは…
……うむ
……?
我らがシェラの里にもっとも近い魔物の巣窟だったヴェオ・ル水門の魔物が姿を消した事を受け
我々はこうなるであろう事を予測してそれに備え動いていた
魔物達は消えたのではない何者かによって集められていたのだ
恐らく魔物達の大群を率いて人間の集落を襲う為
何…!?
それがその仮面の騎士だと!?
!ちょっと待って
アンタ今備えていたって言ったな

魔法兵器開発はその為か！
大群などで魔物が攻めて来たとして我々には迎え撃つ手段が必要だった
……
しかしシェラの里だけで十分な機材や資金は揃わない
その為に表向きを大臣殿の要請という形でこちらで開発を進めていたのだ
気に入らねぇな…
正直に話したところで君等が信用するとは思えなかったので仕方あるまい
ダン
何イ!?
確信を得たらこうして話すつもりだった
プア
ねむい…うるさい…
あたりまえだ金使わせといて兵器だけ持ってトンズラなんて許す訳無いだろ！
確かにあまりいい気はしない話だが少し落ちつけドニー…
だってよソール…

ドニーさん！
……チッ。
ぎし…
え────!??
一つ断っておくが
我々はシェラの里へ持ち帰る為に兵器を造っていた訳では無い
!
もちろんシェラの里に魔物がやってくるなら守りたいが
モグ君
クポ?
実際に近くで白騎士を見たのはこの中では君だけだ
彼は何か言っていなかったか?
ガンバ!!
……
言葉から読みとれる事があるかもしれん
…あの人ははっきり自分が魔物だと言って…
もっとも初めて会った時は元クリスタルキャラバンだと…
ミルラの木や人を恨んでるようだったクポ

敵の目的は人間世界の滅亡

その為にまず総力をあげて
もっとも大きいクリスタルを憑代とする……アルフィタリアをねらうだろう
もしアルフィタリアのクリスタルが破壊されるような事になれば我々人間にとっての被害は計り知れない
ロルフ＝ウッド殿
ガタ
話は聞いた
近い内ここは戦場になる
…そうだよ お主らマール峠の者にはかかわりの無い事…
俺達は宿に戻る
勘違いしないでくれ
もしここがやられたら次は俺達の村だ
戦うなら手をかすよ

明日にも来るかもしれないなら今夜は休ませてもらうぜ
ひら
ひら
フン
ガタ
城下の奴等も城に避難させる準備もしなきゃいけないな
ガシャ
ボヘ～
ガシャ
話がすんだなら俺達にもやる事がある
…無論我々もその時がきたら参戦するが…
君等はどうする…？

……ってゆうか
この状況でアタシらマジ選択権無くない？
あのオッサンゼッタイわかって聞いてるよ いっそ帰るって言…
シッ 黙って
ル・ジェ…
ただの冗談よ！わかってるってのアンタ達に任せるわ！
フォックスが気が付くまで身動きとれそうにないし
カタ
行こ！クレア
とにかく私つかれたしもう寝るね
シーベーグ

後の事お願いね！
シーベーグ君はまだ休まないのかね？
——どうしても頭にひっかかるんです…
お二人の意見をお聞きしたい
白騎士はどうやって魔物を集める事が出来たのか
それぞれ遠く離れた土地に住む魔物を統率する事が出来るとは思えません
個の意志を持つ存在を同時に操る事が出来るのであれば
強力な戦力になったであろうモキート夫妻を殺害するのはおかしい
…確かに妙だ
魔物を無理やり集めれば矛先が自分に向かないともかぎらない
強力な魔物を集めるとなれば尚更だ
魔物を服従させる方法…それが解れば

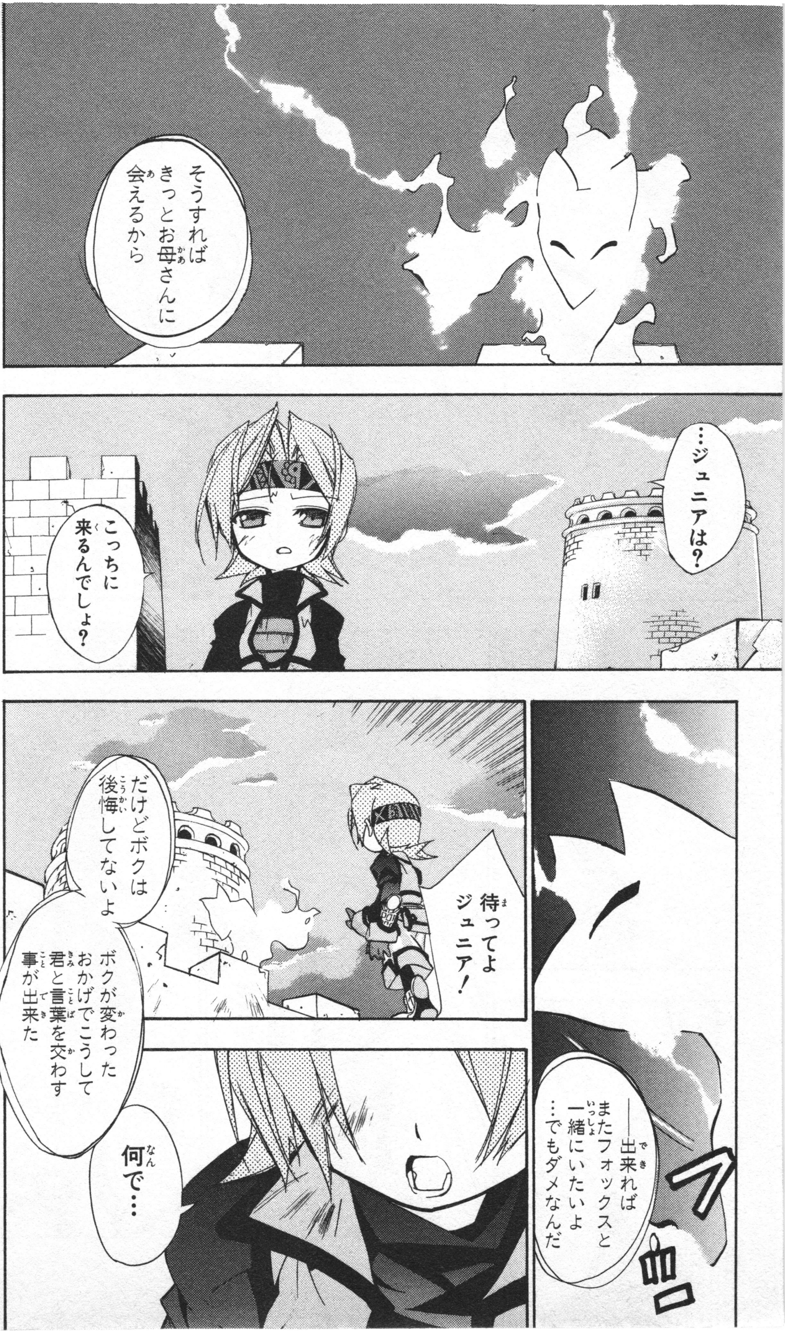
この戦いに勝てるかもしれない
in城下町の宿
……何この差……
in城内指定寝室
ポク
う…ん？

な…
何…これ
フォックス…
!
バッ
!
待って!
懐かしい…

この感じは…！
ザザッ
…ジュニア
昔村で一緒だった
君…なの…？
久し振りだねフォックス

しゃべった!?
ゴメン ボクのせいだ ここまで来るのに君に憑いて来たけど そのせいで君に負担をかけてしまった
君の仲間にも心配をかけさせてしまったね
ジュニア…?
フォックス 君のお母さんが会いたがっている
!?
母さんは生きてるの!?
でも今は悪い魔物に捕まって動けないんだ
だからかわりにシーベーグのお父さんが君をむかえにあの日ティパの村へやってきた

シーベーグの…お父さん…？
確か母さんの代のキャラバンはシーベーグのお父さんとの二人編成…
だけど悪い魔物がフォックスの命をねらって君が村からつれて来られるのを待っていたんだ
だからボクが君の代わりにずっとシーベーグのお父さんと一緒だったんだよ
その悪い魔物って言うのは…あの仮面の人の事!?
あの人を倒せば…
母さんを助ける事が出来るの!?
約束してフォックス
必ずアイツを倒して


そうすれば
きっとお母さんに
会えるから
…ジュニアは？
こっちに来るんでしょ？
待ってよジュニア！
だけどボクは後悔してないよ
ボクが変わったおかげでこうして君と言葉を交わす事が出来た
——出来ればまたフォックスと一緒にいたいよ…でもダメなんだ
何で…

何より君が無事でよかった
わかんないよ何言ってるのさ
せっかくまた会えたのに…！
またすぐ会えるよ……
フワ
お願いだよフォックス何があっても
クリスタルキャラバンとして必ずアイツを倒して
ヒュ!!
約束するよ何があっても…母さんを助けて
ありがとうフォックス
きっと君もその悪い魔物から助けるって!!
ボクはもう帰れないけど……

ボク等の家を守って…
オオオ

やー
こんな簡単に雫が手に入るなんてなー！
まぁ ティパの村の4人には悪かったけど
どうせ 雫なんて その気になればサラッと集められるしネ
そうそう 気ままな旅を楽しまなきゃ！
ねぇ！ 馬車からしましまリンゴ出してよ
ヘイヘイ
番外編
えっと… たしか この辺に… あったあった
ゴソ
ゴソ
？あれ こんな紫色だったっけ？
しましま…

――街道には
ヤツ等がいる
るっ
しましま模様で
身をつつみ
しっ!
まて
疾風のごとき早技で
街道を行く
キャラバン達を
ふるえ上がらせる
ボス――
アルテミシオン
彼らこそ
フン

ご苦労 アルテミシオン
セルキーの中のセルキー
バル・ダット
しましま盗賊団!
メ・カジ
見てみろよ あの二人の あわてよう
同族のセルキーと いえど 俺達の前じゃ あわれなカモに 過ぎないってな!
ホー
ホッ
ホッ
ホッ
ホッ
普段盗む側の セルキーを狙い 盲点をつくなんて ボスさすがクポ
何を言う! 相手が誰だろうと 俺達の手に かかれば…
プリ
プリ
あれ? じいさんは …?

ほばく
捕縛。
うぉおおおおっっ!!
まてゴラァ!
ボスー
ゴロ
何とか逃げられたからよかったものを
じいさんもっとしっかりしてくれよな!
ボス…またいないクポ
まったく!
ザッ
あア!?
ガバ
あ!あそこ…

うわぁ………
何？
何なのコレ
つーか 何でこんなトコにベッド？
走って逃げてる途中見つけて寝ちゃったクポ？
ったくこれだからじじいは…
ドサッ
！
あれ？起こさないクポ？
…まあ折角だし…
盗賊やんのもこの老体にゃあこたえたんだろ
ベッドで寝るなんてそうそう無えし…
たまたまだ

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル はてなき空の向こうに 2 おわり

〈作画構成〉

壱河柳乃助

〈スタッフ〉

北風あろ

藤坂途人

〈担当編集〉

松崎武吏(ガンガン編集部)

鹿塩武志(ガンガン編集部)

〈監修・協力〉

片岡正博(スクウェア・エニックス)

板鼻利幸(スクウェア・エニックス第2開発事業部)

岡宮道生(スクウェア・エニックス宣伝部)

惣水清貴(スクウェア・エニックス宣伝部)

河野麗(スクウェア・エニックス宣伝部)

田口浩司(スクウェア・エニックス)

ガンガンコミックス

FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

～はてなき空の向こうに～

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル はてなき空の向こうに 2

2005年3月22日
初版

著　者　　壱河柳乃助

©2005 Ryunosuke Ichikawa

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO,INC.
FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.

CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

発行人
田口浩司
発行所
株式会社スクウェア・エニックス

〒151-8544　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル3階
〈内容についてのお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0835
〈販売・営業に関するお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0832
FAX 03(5352)6464

印刷所　　凸版印刷株式会社

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan

ISBN4-7575-1368-2 C9979

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO,INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

SQUARE ENIX

GC ガンガンコミックス

GC ガンガンコミックス
既刊好評発売中!!

東京アンダーグラウンド	1～13	有楽彰展
スパイラル ～推理の絆～	1～12	城平 京 水野英多
スパイラル・アライヴ	1	城平 京 水野英多
ドラゴンクエスト エデンの戦士たち	1～12	藤原カムイ
マテリアル・パズル	1～11	土塚理弘
清村くんと杉小路くんよ	1	土塚理弘
清村くんと杉小路くんと	全4巻	土塚理弘
マジック・マスター	1～10	黒沢哲哉 阿白宗司 柳田昌宏
666 ～サタン～	1～10	岸本聖史
鋼の錬金術師	1～9	荒川 弘
スターオーシャンブルースフィア	1～6	水城 葵
PAPUWA	1～6	柴田亜美
南国少年パプワくん	全7巻	柴田亜美
円盤皇女(ゆーふぉーぷりんせす)ワるきゅーレ	1～5	介 錯
ながされて藍蘭島	1～5	藤代 健
妖幻の血	1～4	赤美潤一郎
スターオーシャン Till the End of Time	1～4	神田 晶
ヴァンパイア十字界	1～3	城平 京 木村有里
ハレグゥ	1～3	金田一蓮十郎
アストロベリー	1	金田一蓮十郎
ジャングルはいつもハレのちグゥ	全10巻	金田一蓮十郎
女王騎士物語	1～3	下村トモヒロ
これが私の御主人様	1～3	まっつー 椿 あす
フラッシュ!奇面組	1～2	新沢基栄
ソウルイーター	1～2	大久保篤
B壱	全4巻	大久保篤
ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル ～はてなき空の向こうに～	1～2	壱河柳乃助
LUNO	1	冬目 景
王様の耳はオコノミミ	1	夏海ケイ
陽だまりのピニュ	1	こがわみさき
ハルマゲどん	全2巻	渡辺志保梨
魔法陣グルグル	全16巻	衛藤ヒロユキ
ファントム デッド オア アライブ	全8巻	渡辺道明
悪魔事典	全6巻	巣山真也
プラネットガーディアン	全4巻	高坂りと
ドームチルドレン	全3巻	山崎風愛

●品切れの時は本屋さんに注文して下さい。

少年 月刊 ガンガン GANGAN 毎月12日発売!!

日本一元気なエンターテインメントコミック!!

9784757513686
ISBN4-7575-1368-2
C9979 ¥390E
1929979003906
雑誌48117-04
定価：本体390円＋税
SQUARE ENIX

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO,INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

GC ガンガンコミックス